

# あっぷるかわら版

## 7月号



### あっぷるからの言の葉

**大**きな窓から豊かに光が差し込み、厨房(ちゅうぼう)の奥まで見渡せる開放的な空間に、昼時になると次々と客が集ってきます。徳島に今春赴任して早く訪ねたいと思っていた場所の一つが、徳島市南庄町5に一昨年10月、オープンした「街の中の喫茶店あっぷる」でした。精神などに障害を抱える20人が働く就労継続支援事業所ですが、たずまいはおしゃれな喫茶店であり、弁当屋であり、菓子工房です。

運営するのは、社会福祉法人・ハートランド。理事長の山下安寿さん(59)は草の根で精神障害者を支援しようと20年以上前に勤務先の病院を辞め、一人で活動を始めました。その頃からご縁があり、繰り返し取材させてもらっています。過去の新聞スクラップをくると、最初の記事は1998年1月8日付徳島面。支援団体が近々発足することを伝えています。精神障害に対する偏見、差別がまだまだ強い時代で、拠点となる場所を探すのさえも苦勞したといいます。2000年に同市北島田町で手作り弁当の販売を始めましたが、「精神障害者に包丁を持たせて大丈夫なのか」と真顔で言ってくる人もいたそうです。

03年に市中心部、籠屋町のアーケード内に場所を移し、「街の中の喫茶店」として店内での飲食提供もするように。活動に理解を示してくれる人も徐々に増えていきました。やがて手掛けだしたロールケーキが評判となり、新町川沿いにスイーツ工房を開店。シュークリームなどの洋菓子から近年ではあんこを使った和菓子まで、決して「障害」を言い訳にすることなく、レベルの高いスイーツを生み出し続けています。

2年前にも関西で発行する夕刊紙上で山下さんのことを取り上げました。その際、新たな夢として語っていたのが、「更には人が集まる大きなスポットを作る」こと。まさか、こんなに早く実現させるとは思っていませんでした。長かった借家暮らしから、ついに広さ約200平方メートルの「自分たちの場所」を手に入れたのです。

弁当販売もずっと主力にしてきたので、幸い新型コロナウイルスに苦しめられることもなかったよう。既に地域に溶け込み、駐車場が併設されたこともあって新たな客層が来るようになったといいます。もちろん、全てが順風というわけではないでしょうが、働く当事者の雰囲気も含め「明るい」というのが第一印象でした。通所する女性の1人は「あっぷるに来てから笑えるようになり、体調も良くなった」と語ります。

バンドを組んで音楽活動にも情熱を注いでいた山下さんでしたが、原因不明という進行性の病を患い、徐々に体の自由が利かなくなっています。文化の都、京都で多感な頃を過ごし、一人で活動を背負ってきたこともあって、昔から「無頼派」の作家のような匂いを漂わせていましたが、今では車椅子が必要です。それでも、「自分が障害を抱えて分かるようになったこともある」と前を向き、店に出続けています。

父の始めた活動を次男の千里(ちさと)さん(28)が手伝うようにもなりました。高校時代は力のある球児としてならした若者は、「二代目は初代が立ち上げたものをだめにして、三代目が立て直すものですから」と冗談を飛ばす一方、「通所するみんなが誇りに思える場所にしたい」とも。思わず父の姿が重なります。「障害者が普通に街の中で暮らせる社会になってほしい」。一貫した姿勢で活動を続ける山下さんや、あっぷるで懸命に働く当事者らに接し、私自身も教えられることが少なくありません。新たな店も、誰もが気軽に立ち寄ってお昼を食べ、お茶することのできる「普通の場所」であり続けてほしいと願っています。[徳島支局長 井上 直樹] そんな温かい言葉を綴ってくれました。 理事長 山下安寿

毎日新聞 2020.6.22 から抜粋

### スタッフからの言の葉

「さとうきび畑の珈琲ゼリー」と聞いて、皆さんはどんな珈琲ゼリーを思い浮かべられますか? 「夏のさわやかさ、大人っぽい子どもの頃に背伸びして食べたかった苦み…をフレッシュでまとめて、下のプリン部分では…背伸びしてた自分が、あぁやっぱ子どもでもよかったと思えるような童心に帰ったような自然の甘み」これは、先日この珈琲ゼリーを食べてくださった四国放送テレビ「ゴジカル」スイーツ予想の司会者榎本アナウンサーの言葉です。何とも言い得てくださった素敵な表現に感激しました。撮影当日は、箱入り春子さんのそのまんまなお人柄に、つつい笑いがかぼれたり、見守るあっぷるメンバーもカメラや照明に興味津々、回転台の上でクルクル回る珈琲ゼリーに自分たちが一番魅せられました。皆様も今夏ぜひ一度お試しください。今回ゴジカルスイーツ予想のコーナーにお声かけ頂きました滝沢様、貴重な機会をありがとうございました。 Apple Sweets工房スタッフ 阿部千恵



裏面もあるよ

## あっぷるメンバーからの言の葉

あっぷるを利用している人(メンバー)からの言葉を添えます。( )内はペンネームです

私は最初、あっぷるに来た時は緊張していました。最初の頃はお弁当のおかずの盛り付けと、ご飯計りました。籠屋町の頃は近くの阿波銀行の配達に行きました。雨の日の阿波銀行の配達は大変でした。最初は片付けの場所が分からなかったのが、皆が片付けの場所を教えてくださいました。皆が優しくしてくれて私は嬉しいです。今は、工房の洗い物をしています。洗い物がいっぱいあって大変です。フロランタンの生地をのばしています。もっときれいにのばしたいです。これからも皆と一緒にあっぷるの仕事を頑張ります。(M・A)

あっぷるとの出会いは奇跡です。

それは、母が病院の家族会の作業所の見学にて出会ってきてくれました。

明るい理事長さんやスタッフさん、メンバーさんの人達、あっぷるを応援してくれるお客様、数々の人々との出会い。私は、今こうしてあっぷるの一員として働ける事が出来ています。何も出来なかった私に励まし、私にご指導してくださり、看板商品であるあっぷるのロールケーキを教わる事ができ、毎日、焼くことが出来ています。

そして私は笑顔も取り戻すことが出来ました。本当にお返しすることを頑張らねばいけません。症状と闘いながら仕事も取り組んでいます。このあっぷるで活躍できて嬉しいです。あっぷるでは、すごく一人一人を尊重し、見いだしてくれて、もっと社会で生きていく力をつけさせてくれています。

本当にこんな日かくるなんて、、、明るい光の中にいます。(ロールケーキ担当N・K)

今年の4月にあっぷるに来ました。

あっぷるに来て楽しいことは洗い物です。接客をやってみたいです。(H・H)



### 自家製餡と抹茶のふわふわかき氷

自家製餡と抹茶のふわふわかき氷 ￥550(税込)  
種子島のサトウキビから搾った先糖蜜と練乳をかけて  
お召し上がり下さい。抹茶アイスと白玉だんご入り



### 冷やしうどん始めました

夏本番に向けて、お持ち帰り専用の冷やしうどんの販売を始めました。

おにぎり・日替わり天ぷら入り

350円(税込)



## 5のつく日は 55ランチ

街の中の喫茶店あっぷるでは、月に一度、5のつく日は、本来700円の日替わりランチが、

550円とお得になります。今月は7月15日(木)を予定しています。無くなり次第終了となります。是非お越しください。



街の中の喫茶店あっぷる・あっぷるスイーツ工房

営業日 水・木・金・土 (休業日 月・火・日・祝)

※ 祝日営業はお知らせします。

営業時間 11:00~15:00

ランチ 11:30~15:00 無くなり次第終了

Tel: 088-679-8225 予約可能



社会福祉法人ハートランド  
ホームページQR

